

G7首脳テレビ会議 2月19日(金) テレビ会議形式

inout
&

2月19日(金)、G7首脳テレビ会議が開催された。菅義偉総理大臣、ジョセフ・バイデン米大統領、マリオ・ドラギ伊首相にとっては就任後初の参加となった。菅首相は新型コロナワクチンの公平な普及や将来の感染症への備えに向けた国際協力などについて意見を交換し、東シナ海、南シナ海での現状変更の試みに対する日本の懸念をしっかりと伝達した。また、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を開催する決意を述べ、全てのG7首脳からの支持を得て、首脳声明に明記された。



G7テレビ会議に出席する菅首相

第4回日英外務・防衛閣僚会合(「2+2」) 2月3日(水) テレビ会議形式



日英「2+2」に臨む茂木外相(奥)と岸防衛相(手前)

日英外務・防衛閣僚会合の開催は約3年ぶり。日本から茂木敏充外務大臣および岸信夫防衛大臣が、英国からはドミニク・ラーブ外務・英連邦・開発大臣兼首席大臣、ベン・ウォレス国防大臣が参加。4大臣は、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けた協力を強化し、新型コロナや気候変動への対応をはじめとする幅広い分野で日英協力を深化させることなどで一致。さらに、東シナ海・南シナ海情勢への深刻な懸念を共有し、力を背景とした一方的な現状変更の試みに強く反対するとともに、法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序の重要性などを確認した。